

■石田春律 終生居村で農作しつつ研究、村起こしのために独自の農業技術史論「百姓稼穡元」はじめ、多くの著作。
いしだはるのり
源内物産会・1757＝ 石見国那賀郡太田村で、庄屋石田権左衛門春満の末子に生まれる。

大岡忠光没・1760＝ 3歳：

忠臣蔵大当り1766＝ 9歳：

田沼意次老中1772＝15歳：

黄表紙始・・1775＝18歳：

3人の兄がみな夭折したため、家督を継いで、農事に励むとともに、庄屋も務める。

蘭学階梯・・1783＝26歳：_天明の大飢饉の最中には、山野を開いて甘藷を栽培して窮民を救い、
意知刺殺事件1784＝27歳：

田沼意次失脚1786＝29歳：

_新田開発するなど、身をもって村民を指導する間、苗取歌・田植歌の蒐集にも努め、

松平定信引退1793＝36歳：

膝栗毛始・・1802＝45歳：

間宮海峡発見1808＝51歳：_この年、隠居してか周防の岩国付近に旅行したほかは、生涯村を出ず、

ゴロブニ拿捕 1811＝54歳：*独学で「百姓稼穡元」を書き始めたところに、
高田屋拿捕・1812＝55歳：*石見を巡遊中の心学者大島有隣に師事する機会があつて、強い感化を受け、

杉田玄白没・1817＝60歳：_石見の地名辞書といえる「角?経石見八重葎」や「石見名所図絵」をまとめた後、
水野忠成老中1818＝61歳：
群書類従完結1819＝62歳：*独自の農業技術史論を展開した最大の著作「百姓稼穡元」を脱稿。
・ ・ ・ ・ ・ 1820＝63歳：
蝦夷地直轄終1821＝64歳：_さらに料理作法を説いた「客来袖草紙」、

異国船打払令1825＝68歳：_「金屋子縁起抄」と続々著作したが、何れも出版しないまま、
・ ・ ・ ・ ・ 1826＝69歳：_没した。